

# 米国・イランの「和平暫定合意」はリスク選好要因

「ホルムズ海峡開放期待」が先行して原油先物相場が下落した



# 世界の企業別時価総額ランキングに変化

## 15社中11社が米国企業。スペースXが新規上場で「6位」にランクイン

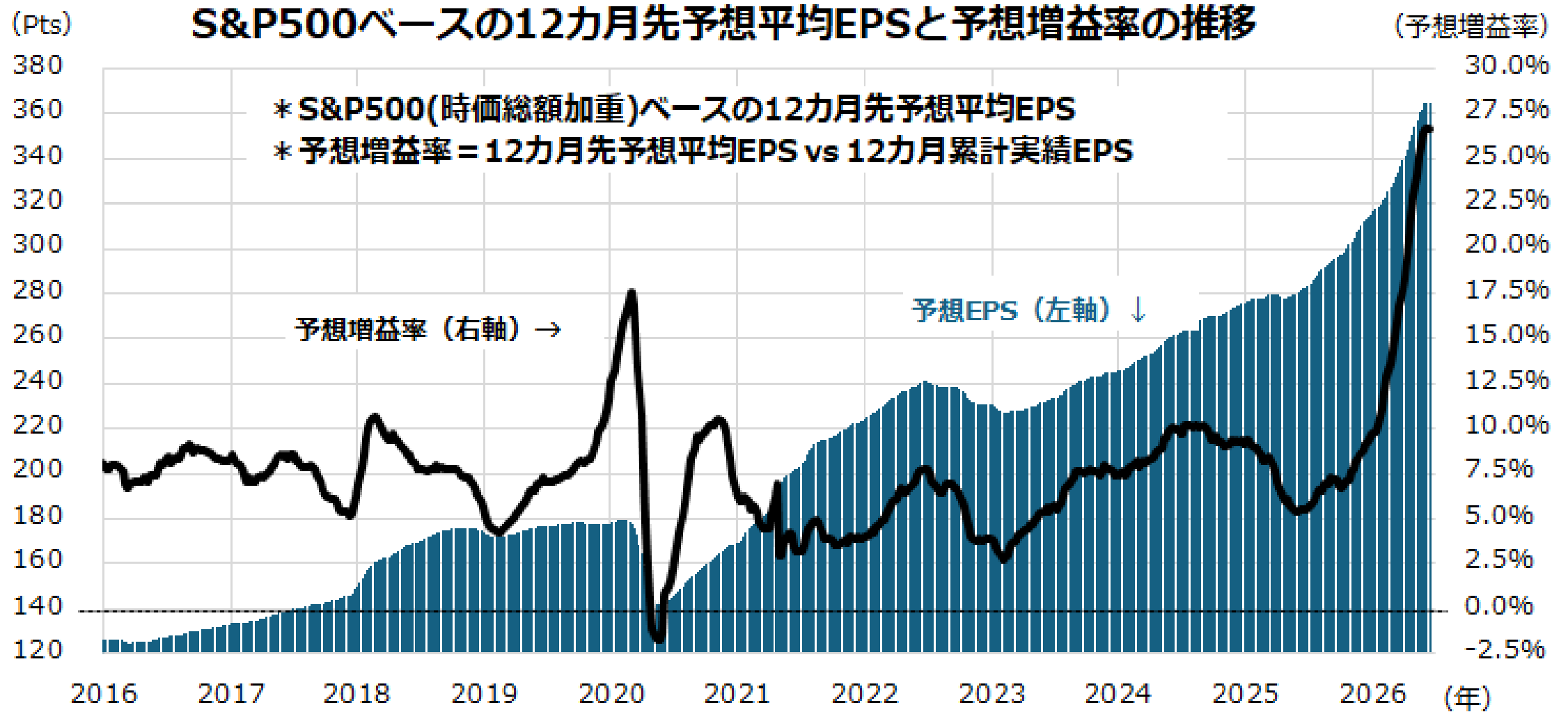
### 世界の時価総額ランキング 上位15社（2026年6月15日時点）

順位	本社国名	ティッカー	銘柄名（日本語）	時価総額(10億ドル)	時価総額(兆円)	年初来騰落率	備考
1	米国	NVDA	エヌビディア	5,145	823	13.9%	
2	米国	GOOGL/GOOG	アルファベット	4,476	716	18.0%	A株・C株合算
3	米国	AAPL	アップル	4,353	696	9.0%	
4	米国	MSFT	マイクロソフト	2,969	475	-17.3%	
5	米国	AMZN	アマゾン	2,646	423	6.6%	
6	米国	SPCX	スペースX	2,519	403	42.6%	6月12日上場、IPO価格比
7	台湾	TSM	TSMC	2,289	366	47.3%	
8	米国	AVGO	ブロードコム	1,874	300	13.8%	
9	サウジアラビア	2222.SR	サウジアラムコ	1,713	274	11.5%	
10	米国	TSLA	テスラ	1,544	247	-2.4%	
11	米国	META	メタ・プラットフォームズ	1,506	241	-10.5%	
12	韓国	005930.KS	サムスン電子	1,461	234	181.1%	
13	米国	MU	マイクロン・テクノロジー	1,226	196	281.2%	
14	韓国	000660.KS	SKハイニックス	1,072	172	252.2%	
15	米国	BRK-B	バークシャー・ハサウェイ	1,068	171	-1.4%	

(出所) 各種の市場情報より作成 (6月15日)

# 米国市場の「業績相場」は当面も続く見込み

S&P500ベースのEPS増益率見通しは「過去10年で最高の+26.7%」



# 注目される高市内閣の「骨太の方針」

「責任ある積極財政」をどう具体化し、成長投資・賃上げ・財政規律を一体で示せるかが焦点

骨太の方針とは：

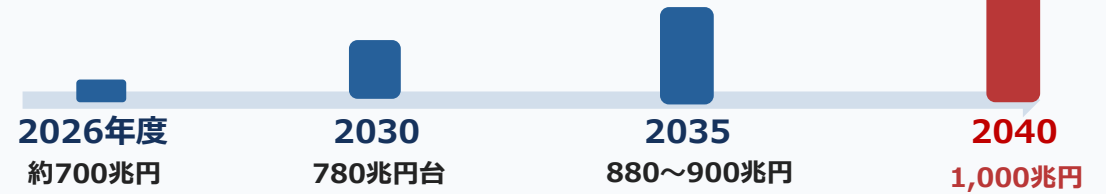
正式名称は「経済財政運営と改革の基本方針」。政府の経済財政政策の基本方針と、経済・財政・行政・社会などの改革の方向性を示す文書。首相が経済財政諮問会議に諮問し、審議・答申を経て閣議決定され、翌年度予算編成の土台となる。

## 確認される5つのポイント

- 1 政権の経済運営の「旗印」**  
高市内閣初の骨太方針。具体的な成長戦略・財政運営・社会保障改革をどれだけ一体的に示せるか。
- 2 責任ある積極財政の設計**  
単年度PBに偏らず、債務残高対GDP比の安定低下と成長投資をどう両立していくか。設備投資拡大に優遇税制、消費税減税（食料品）等。
- 3 危機管理・重点分野への官民投資推進**  
半導体、フィジカルAI、防衛、サイバー、国土強靱化など17戦略分野への官民投資で供給力強化。重点分野それぞれに具体的な工程表を明示するか。
- 4 賃上げ・所得増の持続性**  
物価を上回る賃上げを定着させ、消費回復と企業収益拡大の好循環を狙う。
- 5 市場（マーケット）との対話**  
金利上昇・円安・財政不安を抑えつつ、成長期待を高める説明力が内外投資家からの評価のカギ。

## 総括的目標：2040年に名目GDP 1,000兆円に到達する

足元の名目GDPは2026年度に700兆円に迫る見通し。2040年に1,000兆円なら、年率3.0%程度の名目成長率を目安とするか。



到達条件：デフレ的な低成長から、名目成長が企業収益・賃金・税収に波及する経済へ

## 市場へのインプリケーション

- 成長投資が民間設備投資・企業収益を押し上げる期待が高まれば、日本株は「政策期待相場」から「利益成長相場」へ移行しやすい。
- 一方で、財政規律の説明不足は長期金利・円相場の不安定化要因。市場が重視するのは「成長と規律の両立」でもある。

市場目線の焦点：骨太方針が「成長期待」を高めるだけでなく、長期金利・円への信認を損なわない設計と受け止めるか。

# 業績見通しにもとづく日経平均の年内目標レンジ

本年度（27年3月期）の日経平均ベースEPSは「3,781円」に増益見通し

日経平均の予想レンジ（円）＜本年度予想EPS×想定PER別シナリオ＞

想定PER (倍)	本年度(2027年3月期) 予想EPSの前期比増益率と日経平均予想 (円)				
	4%	6%	8%	10%	12%
20.0	71,447	72,821	74,195	75,569	76,943
19.5	69,661	71,001	72,340	73,680	75,020
19.0	67,875	69,180	70,485	71,791	73,096
18.5	66,089	67,360	68,631	69,901	71,172
18.0	64,302	65,539	66,776	68,012	69,249
17.5	62,516	63,719	64,921	66,123	67,325
17.0	60,730	61,898	63,066	64,234	65,402
16.5	58,944	60,077	61,211	62,345	63,478

\* 前年度(26年3月期)実績EPS = **3,435** (時価総額加重平均) 2026年6月15日

(出所) 日経平均プロフィール、本年度予想EPS (加重平均) = 日経平均採用銘柄の時価総額総計 ÷ 本年度予想純利益総額 (会社予想+アナリスト予想平均)